

事例 5

らくらくマウスの改造

1 相談内容

相談者は対象者本人です。対象者から『病気のため腕のふるえが大きく、らくらくマウス(㈱テクノツール)を使えないので、現在パソコンでの入力ヘルパーにやってもらっている。しかし、それを自分でやりたい。』と相談がありました。

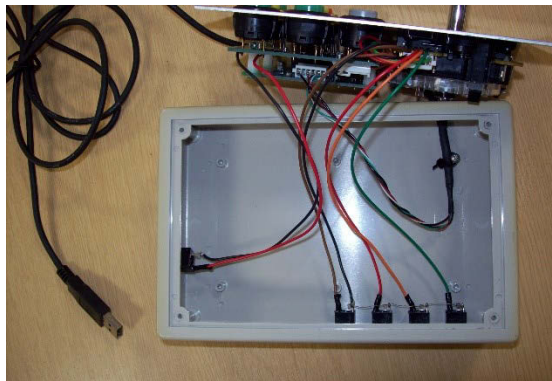
2 対象者プロフィール

40代男性、身体障害者手帳2級です。脊髄小脳変性症(SCD)です。一人暮らしをしています。

3 対応

対象者がらくらくマウス(ジョイスティックタイプ)を持参されたので、その操作をまず確認しました。利き手は右手であり、ジョイスティックをつかもうとしますが、うまくいきませんでした。またプラザ展示品のらくらくマウス(8ボタンタイプ)を試していただきましたが、今度はボタンが小さくてうまく押せませんでした。しかしジェリービンスイッチツイスト(パシフィックサプライ㈱)であれば腕をスイッチのすぐ近くへ置いた後、手の回内動作でスイッチを押すことがスムーズでした。別のICT相談用のマウスで4方向にジェリービンスイッチツイストをつなげて、操作できるか確認したところ、何とかできそうだったため、持参されたらくらくマウスを改造して別のスイッチをつなぐ方法を提案しました。

そして対象者から同意を得て、らくらくマウスへ外部端子を取り付ける改造を行いました。取付方法は事例2と同様ですが、1個ではなく外部端子を左クリックと上下左右方向の合計5個取り付け、その場所を機能別に分けてあります。



外部端子取り付け(5個)の様子



改造後の外観(左クリック、上下左右方向)

4 結果

対象者からは『手にふるえがあっても押しボタンで操作できるので、方向を選択して移動させるのにやりやすくなった。自分でできるのがうれしい。』と感想が寄せられました。

5 予算

400円程度